学校番号	408

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ⅲ	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	新編　数学Ⅲ　（新興出版啓林館）						
副教材等	アベレージ　数学Ⅲ　（新興出版啓林館）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、説明をよく聞いて課題を理解し、解決の方法を自ら考え解決していきます。また、解決の過程を振り返り、よりよい解決の方法を考え、発表したり議論したりします。
・学習の定着を図るため、出された宿題は必ず取り組み、反復練習を行いましょう。
・問題集の問題は教科書の補充として自主的に解き、答えだけでなく途中式や考え方も書き、自分がどこでつまずいたのかを調べましょう。
・分からないところをそのままにせず、まずは自分で解決しようとしてください。解決できない場合は担当者に質問しましょう。また、質問するときには、どこの部分がどうわからないのか具体的に聞きましょう。
・授業中の課題および家庭学習における課題は、定期的に提出してもらいます。最後まであきらめずに取り組みましょう。

2　学習の到達目標

極限、微分法、積分法、数列や関数の値の変化についての概念や原理・法則を体系的に理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を養うとともに、それらを活用する態度を育てる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	極限，微分法及び積分法についての概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付いている。	数列や関数の値の変化に着目し，極限について考察したり，関数関係をより深く捉えて事象を的確に表現し，数学的に考察したり，いろいろな関数の局所的な性質や大域的な性質に着目し，事象を数学的に考察したり，問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察することができる。	数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	第1章　数列の極限	第１節 無限数列 1 無限数列と極限 2 無限等比数列 第２節　無限級数 1 無限級数 2 無限等比級数	a:無限級数や無限級数の収束，発散の関係を理解している。無限数列や無限級数の収束，発散を調べることができる。 b:無限数列や無限級数と収束，発散の関連を考察することができる。 c:無限数列や無限級数の極限に関心をもち，事象の考察にも活用しようとする。	定期テスト 確認テスト	定期テスト ワークシート レポート	ワークシート レポート
	第2章　関数とその極限	第１節 分数関数と無理関数 1 分数関数 2 無理関数 3 逆関数と合成関数 第２節 関数の極限と連続性 1 関数の極限 2 関数の連続性	a:分数関数や無理関数，合成関数や逆関数の定義や性質，関数値の極限の様子について理解している。合成関数や逆関数を求めたり，いろいろな関数値の極限を調べたりすることができる。 b:新たな関数の概念や，関数値の極限について考察することができる。 c:分数関数や無理関数などの新しい関数や，合成関数，逆関数などの関数の新たな概念について関心をもつ。関数値の極限について，事象の考察に活用しようとする。	定期テスト 確認テスト	定期テスト ワークシート レポート	ワークシート レポート

2	第3章 微分法	第１節 微分と導関数 1 微分可能と連続 2 微分と導関数 3 合成関数の微分法 第２節 いろいろな関数の導関数 1 三角関数の導関数 2 対数関数・指数関数の導関数 3 高次導関数 第３節 導関数の応用 1 接戦の方程式 2 平均値の定理 3 関数の増減 4 第２次導関数とグラフ 5 第２次導関数と極大・極小 第４節 微分法の応用 1 関数の最大・最小 2 方程式・不等式への応用 3 速度と加速度 4 関数の値の近似	a:微分法の意味や，微分とグラフとの関係を理解している。微分法を用いて，接線の方程式を求めたり，グラフの概形を調べたりすることができる。 b:事象を微分法を用いて考察したりすることによって，微分の見方や考え方を身につけている。 c:いろいろな関数について微分を考え，事象の考察に活用しようとする。	定期テスト 確認テスト	定期テスト ワークシート レポート	ワークシート レポート
3	第4章 積分法	第１節 不定積分 1 不定積分 2 置換積分法 3 部分積分法 4 いろいろな関数の不定積分 第２節 定積分 1 定積分 2 定積分と微分 第３節 定積分の応用 1 面積 2 体積 3 曲線の長さ 4 定積分の和の極限 5 定積分と不等式	a:積分法の意味や，面積と体積との関係を理解している。積分法を用いて，図形の面積や体積を調べたりすることができる。 b:事象を積分法を用いて考察したりすることによって，積分の見方や考え方を身につけている。 c:いろいろな関数について，積分を考え，事象の考察に活用しようとする。	定期テスト 確認テスト	定期テスト ワークシート レポート	ワークシート レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度